

# 科学

✉ kagaku@asahi.com

## 体内時計で症状変化

花粉症やじんましんなどのアレルギーが夜中や明け方にひどくなるのは、細胞の活動が周期的に変動する体内時計が関わっていることを、山梨大医学部の中尾篤人教授らがマウスの実験で突き止めた。アレルギーは、皮膚や粘膜

にある「マスト細胞」がヒスタミンなどの刺激物質を放出することで起きる。通常、アレルギー反応の強さは24時間周期で変わるが、マスト細胞の体内時計の遺伝子の働きを止めたら、反応は24時間一定になった。マスト細胞の時計遺伝子を抑える化合物を使えば、アレルギー症状を和らげられる可能性があるという。

## 体内時計で症状変化

花粉症 やじんましんなどの アレルギー が夜中や明け方にひどくなるのは、細胞の活動が周期的に変動する 体内時計 が関わっていることを、山梨大医学部の中尾篤人教授らがマウスの実験で突き止めた。

アレルギー は、皮膚や粘膜にある「マスト細胞」が ヒスタミン などの刺激物質を放出することで起きる。通常、アレルギー 反応の強さは24時間周期で変わるが、マスト細胞の 体内時計 の 遺伝子 の働きを止めたら、反応は24時間一定になった。マスト細胞の時計 遺伝子 を抑える化合物を使えば、アレルギー 症状を和らげられる可能性があるという。